

第4部 社 会 教 育

第4部 社会教育

1章 社会教育行政の方針と重点

1 方針

県民が、自己の向上を目指して生きがいのある充実した生活を送るとともに、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう、学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努める。

2 重点

(1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 地域学校協働活動の促進
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ 子どもの読書活動の充実
- エ 家庭教育支援の充実
- オ 青少年の体験活動の充実

(2) 活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成
- イ 次代の地域を担う若者の育成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援
- エ 多様な働き方を可能にする学び直しの機会の充実

(3) 生涯を通じた学びと社会参加の推進

- ア 高齢者や障害者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実
- イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

(4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

※人は青森県にとって「財（たから）」であるという基本的な考え方から、ここでは「人材」を「人財」と表しています。

2章 事業の概要

1節 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 地域学校協働活動の促進
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ 子どもの読書活動の充実
- エ 家庭教育支援の充実
- オ 青少年の体験活動の充実

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業

[趣 旨]

様々な立場から社会教育活動を支援していく人財を育成し、地域の活性化を図るため、市町村の社会教育主事等が中心となり、首長部局、企業・民間団体等の地域ネットワークを活用した事業の企画・実践を支援するとともに、地元企業等と学校のネットワーク会議等を実施する事業である。

[概 要]

(1) 地域課題の解決【2地区 主管：関係教育事務所】

社会教育主事が中心となり、首長部局、NPO団体、地域づくり団体等とともに、多面的な視点で、地域に関わる課題を解決したり、地域の良さを生かしたりするための事業を企画・実践した。

ア 東青地区（平内町）

<事業の企画①>

- 期日：6/23（火） ○会場：藤沢コミュニティセンター（平内町）
- 参加者数：5名
- 内容：事業説明、委員顔合わせ

<事業の企画②>

- 期日：7/4（土） ○会場：藤沢コミュニティセンター（平内町）
- 参加者数：14名
- 内容：企画事業に係る打合せ

<事業の実践①>

- 期日：7/23（木・祝）
- 会場：藤沢コミュニティセンター（平内町） ○参加者数：9名
- 内容：地域コミュニティの強化に結びつく取組等についての勉強会

<事業の実践②>

- 期間：8月上旬～10月下旬（17回） ○会場：藤沢コミュニティセンター（平内町）
- 参加者数：延べ55名
- 内容：地域コミュニティの維持強化を図るための町内美化活動、憩いの場の拠点づくり（ロープ柵用杭打ち、碎石敷設作業、ピザ窯づくり等）

<事業の実践③>

- 期日：11/15（日） ○会場：藤沢コミュニティセンター（平内町）
- 参加者数：23名

- 内容：世代間交流（ピザ窯完成報告、ピザ焼き体験）
- イ 下北地区（佐井村）
 - <事業の企画①>
 - 期日： 6/11（木） ○会場：佐井村役場 ○参加者数：9名
 - 内容：事業説明、委員顔合わせ、事業計画作成
 - <事業の企画②>
 - 期日：11/4（水） ○会場：佐井村役場 ○参加者数：8名
 - 内容：中間報告
 - <事業の企画③>
 - 期日：1/25（月） ○会場：佐井村役場 ○参加者数：9名
 - 内容：事業に関する報告
 - <事業の実践①>
 - 期日：7/7（火）、11/27（金）、12/20（日）
 - 会場：佐井小学校、津軽海峡文化館「アルサス」（佐井村）
 - 参加者数：延べ38名
 - 内容：子育て世代と地域をつなぐ交流会
 - <事業の実践②>
 - 期日：12/20（日）
 - 会場：津軽海峡文化館「アルサス」（佐井村） ○参加者数：39名
 - 内容：親子で触れ合うお楽しみ会

(2) キャリア教育の推進【青森県教育支援プラットフォーム各地区実行委員会への事業委託】

ア 地元企業と学校のネットワーク会議の開催

- 内容：学校と企業等の関係者がお互いに「顔の見える関係」を築き、地域における未来をつくる人財像を共有するため、各地区においてネットワーク会議を開催し、学校が求める支援内容や企業ができる支援内容をマッチングすることを目的に、アドバイザーによるコーディネートのもと、意見・情報交換を行った。
- ※東青、西北、上北、下北、三八地区は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。

<中南地区>

- 日時：9/9（水） ○場所：弘前プラザホテル ○参加者数：37名
- 内容：講話・ワークショップ
- 講師：株式会社BOLBOPカラーニングスペースHLS弘前 代表取締役 辻 正太

イ 模擬授業等の開催

各地区実行委員会の教育支援活動推進員がコーディネートを行い、企業・NPO等が実施している教育支援活動（出前授業・インターンシップ・体験活動等）の具体的な取組を紹介するため、教職員や地域学校協働本部関係者等を対象とした、企業等による教育支援見本市や模擬授業等を行った。

<東青地区>

- ・企業による模擬授業等の開催
 - 日時：9月上旬～1月中旬 ○場所：浦町中学校、浪打中学校、大野小学校
 - 講師：警察・消防・スポーツインストラクター等
- ・教育支援見本市：新型コロナウイルス感染症感染状況を踏まえ中止

<西北地区>

- ・出前授業

○日時：9/1（火）

場所：金木中学校 講師：弘前大学人文社会科学部教授 李 永俊

○日時：9/25（金）場所：金木中学校 講師：観光アドバイザー 角田 周

・教育支援見本市：新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ中止

<中南地区>

・中南地区教育支援見本市

○日時：10/2（金）～4（日） ○場所：弘前市ヒロロ ○参加者数：97名

○参加企業：9社

<上北地区>

・出前授業「命を救う仕事のすばらしさ」

○期間：7月～2月

○開催校：十和田市立四和小・中学校、十和田市立三本木小学校、

三沢市立岡三沢小学校、三沢市立おおぞら小学校、三沢市立上崎野小学校、

三沢市立上久保小学校

・教育支援見本市：新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ中止

<下北地区>

・小学生対象の職業体験学習「ユメココ教室」

○期間：7月～12月

○開催校：むつ市立奥内小学校、むつ市立大畑小学校、むつ市立大平小学校、

むつ市立第一田名部小学校、東通村立東通小学校

・教育支援見本市：新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ中止

<三八地区>

・コナチュウ 未来への架け橋講座～ふるさとで働くプロフェッショナル(仕事人)から学ぶ～

○期間：1月～2月（全4回開催） ○場所：八戸市立小中野中学校

・教育支援見本市：新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ中止

子どもの読書活動推進事業

【趣 旨】

「青森県子ども読書活動推進計画（第四次）」に基づき、読書に親しみ自主的に読書活動をする子どもたちを育成するため、子どもが読書に親しむ機会の充実、環境の整備・充実、理解と関心の普及・啓発を進める取組を展開する事業である。

【概 要】

(1) あおりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』

中学生・高校生の読書意欲の向上を図り、自主的な読書活動を促すため、県内の中学生・高校生を対象に仲間や友だちなどに薦めたい一冊の本の紹介文を募集し、優秀作品を表彰した。

また、優秀作品集（紹介文集）及び優秀作品周知ポスターを作成し、中学校、高等学校、特別支援学校中学部及び高等部、図書館等に配布した。

○募集期間：7/1（水）～9/18（金）

○応募数：5,072点（中学生の部：29校1,501点、高校生の部：27校3,571点）

○優秀作品受賞者一覧

<中学生の部>

最優秀賞	八戸市立江陽中学校3年 上田 夏希 「線は、僕を描く」（砥上 裕将／著）
優秀賞	青森市立南中学校3年 西崎 楓 「カラフル」（森 絵都／著） 外ヶ浜町立三厩中学校1年 東 璃咲 「ハリネズミの願い」（トーン・テレヘン／著 長山 さき／訳） 深浦町立大戸瀬中学校3年 堀内 美緒 「西の魔女が死んだ」（梨木 香歩／著） 弘前市立北辰中学校2年 石郷岡 琴音 「トラベジウム」（高山 一実／著） 八戸聖ウルスラ学院中学校3年 朝 望美 「新版 生きるヒント2 今日を生きるための12のレッスン」（五木 寛之／著）

<高校生の部>

最優秀賞	県立三本木農業高等学校2年 巴 香乃 「老人と海」（ヘミングウェイ／著 高見 浩／訳）
優秀賞	県立青森高等学校1年 櫻田 藍 「罪と罰」（ドストエフスキー／著 工藤 精一郎／訳） 県立北斗高等学校3年 木津 怜巳 「蜘蛛の糸・杜子春」（芥川 龍之介／著） 県立青森聾学校 高等部2年 三上 真輝 「ケーキの切れない非行少年たち」（宮口 幸治／著） 県立八戸商業高等学校1年 清水 怜奈 「怠けてるのではなく、充電中です。昨日も今日も無気力なあなたのための心の充電法」（ダンシングスネイル／著 生田 美保／訳） 千葉学園高等学校3年 加藤 夏望 「博士の愛した数式」（小川 洋子／著）

(2) 子どもの読書活動推進大会

広く県民が子どもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、家庭・地域・学校を通じた社会全体で子どもの読書活動を推進する機運の醸成を図るため、子どもの読書活動推進大会を開催した。

○日時：12/12（土） 13：00～16：00 ○場所：県総合社会教育センター

○参加者数：80名

○内容

・講演「本にふれることの喜び」 講師 作家 武田 綾乃

※高校生4名とのトークセッション

・令和2年度「あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』」表彰式

・「私のお薦めの一冊」

令和2年度「あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』」中学生及び高校生の部の最優秀賞及び優秀賞受賞者による本の紹介（6名の発表）

(3) 青森県子ども読書活動推進計画

青森県子ども読書活動推進計画（第四次）概要版を10,000部作成し、関係機関に配布するとともに、ホームページに掲載した。

いじめ防止キャンペーン推進事業

[趣 旨]

いじめ問題への理解と認識を深めるため、いじめ防止を内容とした標語を募集し、その優秀賞作品をテレビを通じて視聴者へ語りかけることにより、広く県民のいじめ防止に向けた意識の啓発を行う事業である。

[概 要]

(1) いじめ防止標語コンクール

小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民から、いじめ防止を訴える標語を募集し、優秀賞6作品、審査員特別賞3作品を選定、表彰した。

○募集期間：6/8（月）～8/31（月）

○応募数：10,346作品（小学校6,866作品、中学校2,993作品、高等学校386作品、特別支援学校98作品、一般3作品）

○受賞作品

優 秀 賞	ぼくたちは ぼつとかないよ なかまだもん 気づこうよ 助け求める 心の声	青森市立沖館小学校5年 太田 真尋 五所川原市立五所川原第三中学校 1年 古川 蓮
	えがお100 やさしさ100で いじめ0 寄り添いは 閉ざした扉を 開くカギ	弘前市立岩木小学校1年 加藤 壮真 三沢市立岡三沢小学校 6年 大久保 琥太
審 査 員 特 別 賞	手を止めて 送信前に 考えよう 言葉遣い 少しかえれば みな笑顔	むつ市立川内中学校3年 鈴木 虹花 県立八戸中央高等学校 1年 佐藤 瑠星
	いじめだと 気づいた時こそ 変えられる つくろうよ みんなの個性を 認める輪 ことばはね ほくとあなたを つなぐもの	県立鶴田高等学校1年 西村 安莉 弘前市立第二中学校2年 三上 佳志乃 県立むつ養護学校 高等部1年 四ツ谷 空翔

(2) テレビCMの制作・放送

ア 令和元年度制作「いじめ防止キャンペーンテレビCM」を県内民放3局で放送（4/6～4/7、5/7～5/11、8/21～9/2、1/14～1/20）。

イ 令和2年度いじめ防止標語コンクール優秀賞作品を活用したテレビCMを制作し、県内民放3局で放送（3/24～3/26）。

特別支援学校における家庭教育支援事業

【趣 旨】

障害のある児童生徒の保護者等が、子どもの健やかな成長のために、障害のある児童生徒の心理や行動について理解を深め、家庭における教育や卒業後の就労などについて必要な知識を習得するとともに、同じ悩みを持つ保護者同士の交流や地域住民との交流を深める機会を提供する事業である。

【概 要】

開設校	回数	時間	参加者数	主な内容		
青森第一養護学校	3	8	34名	パン作り教室、保護者施設見学、講話（摂食について）		
青森第二養護学校	3	8	26名	こぎん刺し教室、救命救急法		
青森若葉養護学校	2	4	24名	施設見学、陶芸・絵付け		
青森第一高等養護学校	1	1	10名	福祉に関する勉強会		
青森第二高等養護学校	1	3	9名	木製のカトラリー作り		
県立盲学校	4	9	41名	学校祭参加、進路講話聴講、点字ブロック理解啓発活動、主権者教育研修会		
青森聾学校	1	1.5	6名	コサージュ作り		
浪岡養護学校	3	5	43名	生け花教室、調理活動		
弘前第一養護学校	1	3	15名	アロマオイルを使用したマッサージ体験		
弘前第二養護学校	2	5	26名	学校祭鑑賞、クリスマス会参加		
弘前聾学校	3	4	36名	なかまの集い、進路懇話会、ハーバリウム作り		
八戸第二養護学校	1	1	3名	進路学習会		
八戸盲学校	3	6	17名	装飾作り、親子体験学習（もの作り、伝承文化活動）、進路学習会		
八戸聾学校	3	5	46名	130周年記念式典装飾・清掃、手話学習		
森田養護学校	1	5	10名	文化活動への参加（学校祭記念品の準備）		
黒石養護学校	1	2	7名	コサージュ作り		
七戸養護学校	1	2	21名	進路学習会		
むつ養護学校	3	10	55名	園芸教室、父母学習会（進路について）		
八戸高等支援学校	2	7	53名	進路学習会、研修（施設見学）		
合計	延べ回数	39回	延べ時間	89.5時間	参加者数合計	482名

学校を核とした地域づくり推進事業

【趣 旨】

地域学校協働本部の設置をこれまで以上に推進するために、多様な形態による地域学校協働本部のモデルを設置し、地域学校協働本部の普及を図るとともに、地域学校協働活動の理解及び更なる啓発を進める事業である。

【概 要】

(1) 地域学校協働本部構築モデル事業（県内4市町村）

県内で設置例がない形態、または事例に限られている形態の地域学校協働本部を設置し、これまでの学校支援活動にとどまらず、学校が地域の核となり、地域学校協働本部が地域との連携・協働を進めながら、地域課題の解決に取り組む活動を行う。

○地域学校協働本部構築モデル事業進捗状況

市 町 村	本部設置形態	本部設置時期
黒 石 市	公民館に本部を設置	R3.9月（予定）
む つ 市	コミュニティ・スクールを導入している市町村に本部を設置	R3.3月
鶴 田 町	中学校区に本部を設置	R3.3月
風間浦村	中学校区に本部を設置	R3.3月

(2) 地域と学校とのコラボレーション研修【主管：各教育事務所】

地域学校協働活動に係る知識と理解を深めるとともに、地域と学校をつなぐために必要なコーディネートの在り方及び学校・地域双方に求められる役割について学ぶための研修会を4地区（うち1地区はオンライン）で行った。2地区は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

地区	期 日	場 所	参加者数	備 考
西 北	12/1（火）	五所川原市中央公民館	44名	
上 北	11/10（火）	六戸町文化ホール	47名	
下 北	12/8（火）	むつ来さまい館	32名	オンラインで実施
三 八	11/16（月）	八戸市総合保健センター	94名	

※東青・中南地区は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、研修会を中止した。

○講師

西北地区 特定非営利活動法人まなびのたねネットワーク 代表理事 伊勢 みゆき

上北・三八地区 岩手県大槌町教育委員会地域コーディネーター及び教育専門官

岩手県立大槌高等学校 カリキュラム開発等専門家 菅野 祐太

下北地区 一般社団法人みたかSCサポートネット 代表理事 四柳 千夏子

(3) 地域との連携を担う教職員研修【主管：生涯学習課】

地域との連携・協働の必要性や地域連携を担う教員としての校内での役割や留意点について、県内6地区で研修を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

地域学校協働活動推進事業（県事業）

【趣 旨】

地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する地域学校協働活動を推進することを目的として、より多くの地域住民等の参画による多様な活動を継続的・安定的に実施する体制づくりを支援する事業である。

【概 要】

(1) 会議の開催

県内における地域学校協働活動及び放課後子ども総合プランの総合的な推進を図るため、地域学校協働活動の総合的な在り方の検討を行うとともに、全児童の放課後対策の諸問題について協議した。

ア 地域学校協働活動推進委員会

- ・日時：12/21（月）13：30～15：45
- ・場所：県庁南棟5階教育委員会室
- ・委員

No.	氏名	所属等	備考
1	深 作 拓 郎	弘前大学教育学部 講師	委員長
2	成 田 達 哉	青森市立浜館小学校 校長	
3	山 内 亮 悦	六戸町立六戸小学校 校長	
4	富 樫 克 輝	八戸市立江陽中学校 校長	
5	外 崎 浩 司	青森県PTA連合会 会長	
6	大 水 俊 江	平内町立東小学校 放課後子ども教室コーディネーター	
7	沢 田 真由美	鶴田町立鶴田小学校 放課後子ども教室コーディネーター	
8	工 藤 知久子	青森市立浦町中学校 CSディレクター	
9	村 上 直 嗣	黒石市教育委員会社会教育課 主幹・地域支援係長兼主任社会教育主事	
10	高 島 慎 吾	むつ市教育委員会生涯学習課 主任	
11	能 渡 春 実	風間浦村教育委員会教育課 主幹	
12	奈 良 英 文	青森市福祉部子育て支援課 課長	
13	川 口 文 子	根城伸よしクラブ 代表支援員	
14	一 戸 裕見子	常盤小学校学童クラブ クラブ長	

イ 放課後子ども総合プラン市町村担当者連絡会議

- ・日時：11/9（月）13：30～15：30
- ・場所：県総合社会教育センター 第1研修室
- ・参加者：市町村放課後子ども総合プラン担当者（社会教育主管課及び福祉部局）
※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開催を中止し、後日資料提供を行った。

(2) 研修の実施

ア 地域学校協働活動推進のための研修【主管：県総合社会教育センター】

地域学校協働活動の推進に向けて、地域と学校が協働する仕組みづくりに関わる市町村教育委員会担当者や地域学校協働活動推進員等の資質向上を図った。

・参加人数：44名

・内容等

日時及び会場：7/28（火）10：20～12：00 県総合社会教育センター

対象：地域学校協働活動推進員、放課後子ども教室コーディネーター及び地域学校協働本部のコーディネーター等（以下、地域学校協働活動推進員等）、市町村教育委員会担当者

内容：講義・演習「地域と学校の連携・協働の推進について」（オンラインによる実施）

講師 岐阜県大野郡白川村教育委員会事務局 社会教育主事 新谷 さゆり

イ 放課後子ども総合プラン指導員等研修会【主管：各教育事務所】

放課後対策等に関わる地域人財を対象に、学習・体験活動等の企画・実施方策、安全管理方策等の資質向上を図るための講義や、他の事業関係者等との情報交換・情報共有を図るため、合同の研修会を開催した。

・参加人数：計487名

・対象：地域学校協働活動推進員等、協働活動支援員、協働活動サポーター、特別支援・共生社会サポーター、放課後児童指導員等

東青	前期	【開催日】9/15（火）、16（水） 【会場】県総合社会教育センター 【参加人数】63名 【内容】講義「子どもたちの科学する心を育てるものづくり」 理科教育コンサルタント 井上 貴之
	後期	【開催日】12/8（火） 【会場】県総合社会教育センター 【参加人数】101名 【内容】講義「心地よい子どもたちの居場所づくりのために」 ～放課後子ども総合プランの意義と指導員の役割について～ 弘前大学教育学部 兼 地域創生本部 講師 深作 拓郎
西北	前期	中止
	後期	【開催日】10/2（金） 【会場】つがる市柏ふるさと交流センター 【参加人数】45名 【内容】講義・演習「保護者や子どもとつながるためのコミュニケーション」 青森明の星短期大学 非常勤講師 長尾 慶子
中南	前期	中止
	後期	【開催日】9/8（火） 【会場】弘前市民文化交流館ホール 【参加人数】43名 【内容】講義「放課後子ども総合プランの概要」、「あおり親楽プログラム紹介」 青森県教育庁生涯学習課 職員 児童クラブ見学（大成なかよし会）
上北	前期	中止
	後期	【開催日】10/9（金） 【会場】七戸町屋内スポーツセンター 【参加人数】102名 【内容】実技研修「遊びのマスターから学ぼう～新しい生活様式に配慮した遊び講座～」 NPO法人子どもネットワーク・すてっぷ 代表理事 奈良 陽子
下北	前期	中止
	後期	【開催日】10/14（水） 【会場】むつ市中央公民館 【参加人数】89名 【内容】講義「愛着障害の理解と対応」 八戸市こども支援センター 臨床心理士 高橋 育子
三八	前期	中止
	後期	【開催日】10/1（木） 【会場】八戸市福祉公民館 【参加人数】44名 【内容】講義・演習「すぐに使える“なかよし遊び”～子どもたちの豊かな表現や育ちのために～」 青森県レクリエーション協会 副会長 高橋 昌樹

ウ 地域学校協働活動コーディネートアドバイザーの配置

県に地域学校協働活動に係るコーディネータアドバイザーを配置し、市町村教育委員会との連絡調整、地域学校協働活動の理解促進等を行う。

放課後子ども教室推進事業費補助

【趣 旨】

子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的として、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を設け、スポーツ・文化活動等の体験活動、地域住民との交流活動等の取組を実施する市町村に対し、県が補助をする事業である。

【概 要】

放課後子ども教室の取組を行う市町村（中核市の青森市及び八戸市を除く）に補助金を交付する。【国庫補助1/3、県補助1/3、市町村負担1/3】

17市町村66教室

平内町 今別町 外ヶ浜町 鶴田町 中泊町 弘前市 平川市 大鰐町 十和田市 六戸町
東北町 おいらせ町 むつ市 風間浦村 佐井村 三戸町 五戸町

地域学校協働活動推進事業費補助

【趣 旨】

幅広い地域住民等の参画により、地域と学校が連携・協働しながら地域全体で子どもの成長を支え、地域を創生する活動（地域学校協働活動）を推進することを目的として、地域学校協働活動に取り組む市町村に対し、また、子どもたちの土曜日等の教育活動を充実することを目的として、民間団体等の多様な経験や技能を持つ外部人材等の参画により、特色・魅力のある教育プログラムを実施する「外部人材を活用した教育支援活動」の取組を実施する市町村に対し、県が補助をする事業である。

【概 要】

地域学校協働活動及び外部人材を活用した教育支援活動の取組を行う市町村（中核市の青森市及び八戸市を除く）に補助金を交付する。【国庫補助1/3、県補助1/3、市町村負担1/3】

10市町30本部（小学校34校、中学校15校）

平内町 今別町 五所川原市 鱒ヶ沢町 鶴田町 中泊町 弘前市 平川市 三沢市
五戸町

あおり家庭教育支援総合事業

【趣 旨】

社会や家庭を取り巻く状況の変化に伴い、家庭教育が一層困難になっていることを踏まえ、全ての親が安心して家庭教育を行うために、今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するための協議を行い、地域全体で家庭教育を支援していく気運を高めるとともに、親の育ちを応援する学びの機会の充実や支援のネットワークづくり等を行う事業である。

【概 要】

(1) 青森県家庭教育支援推進協議会の開催

今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するため、本県の家庭教育支援事業及び家庭教育学習テキスト「あおり親楽プログラム1」の改訂について協議した。

○委員：10名

○回数：年3回

(2) 家庭教育学習テキスト「あおり親楽プログラム」の作成

家庭教育の学習を推進するため、「あおり家庭教育アドバイザー」が活用する家庭教育

の学習テキストを改訂した。

○「改訂版 あおもり親楽プログラム1～乳幼児・小学生編～」の作成 1,800部

- (3) 親の学びを支援する「あおもり家庭教育アドバイザー」の派遣（主管：県総合社会教育センター）

地域における家庭教育支援の活性化を図るため、「あおもり家庭教育アドバイザー」を団体からの要請に応じて派遣した。

実施日	実施機関	研修会等の名称 (参加者数)	学習プログラム	派遣 アドバイザー
12/6 (日)	公益社団法人 八戸青年会議所	次年度青少年育 成委員会勉強会 (11名)	「わが子がイキイキしてる！～ 体験活動のススメ～」 (乳幼児・小学生編)	小宮 香

- (4) 読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成

県読書団体連絡協議会への委託により、読み聞かせの効果や家庭での読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成と、読み聞かせ実践者のスキルアップを図る研修会を県内5地区で開催し、合計204名が受講した。そのうち、「親子ふれあい読書アドバイザー」を新たに12名養成、登録した。（累計登録者数：493名）

地区	内 容
西北	【期日】10/3(土) 【会場】つがる市旧制木造中学校講堂 【参加者数】40名 【内容】○親子ふれあい読書アドバイザー研修 講師：J P I C読書アドバイザー 高嶋 敬子 ○読み聞かせ研修会 講師：つがる市読書推進連絡会ろばたの会 代表 蝦名 桂子
中南	【期日】10/15(木) 【会場】平川市生涯学習センター 【参加者数】45名 【新規登録者数】2名 【内容】○親子ふれあい読書アドバイザー研修 講師：親子ふれあい読書アドバイザー 千葉 敦子 ○読み聞かせ研修会 講師：絵本セラピスト 長谷川 育子
上北	【期日】9/13(日) 【会場】十和田市民図書館 【参加者数】35名 【新規登録者数】6名 【内容】○親子ふれあい読書アドバイザー研修 講師：語りの会「こま草」代表 阿部 智留恵 他6名 ○読み聞かせ研修会 講師：語りの会「こま草」代表 阿部 智留恵 他6名
下北	【期日】12/6(日) 【会場】むつ市立図書館 【参加者数】9名 【新規登録者数】1名 【内容】○親子ふれあい読書アドバイザー研修 講師：親子ふれあい読書アドバイザー 越膳 昌子 ○読み聞かせ研修会 講師：親子ふれあい読書アドバイザー 越膳 昌子
三八	【期日】10/15(木) 【会場】YSアリーナ八戸 【参加者数】75名 【新規登録者数】3名 【内容】○親子ふれあい読書アドバイザー研修 講師：J P I C読書アドバイザー 前田 敏子 絵本専門士 高橋 智子 ○読み聞かせ研修会 講師：八戸ブックセンター企画運営専門員 森 花子

※東青地区は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、研修会を中止した。

(5) あおもり家庭教育応援フェスタの開催

地域が一体となって子どもたちを育むことについて学びを深める講演会、あおもり家庭教育アドバイザーによる「あおもり親楽プログラム」を活用した特別講座及び様々な家庭教育支援に関する情報提供を行うことにより、家庭教育についての理解と認識を深め、地域全体で家庭教育を支援する意義や必要性についての普及・啓発を行った。

○期日：11/1（日）

○場所：青森中央学院大学

○参加者数：100名

○内容

ア 講演「子育てハッピーアドバイス～地域ぐるみで家庭教育を支えよう～」

講師 真生会富山病院心療内科部長 明橋 大二

イ 特別講座「地域のチカラで子どもを育てる！～体験しよう！『あおもり親楽プログラム』～」

講師 あおもり家庭教育アドバイザー 工藤 貴子

真生会富山病院心療内科部長 明橋 大二

ウ パネル展示

展示団体 青森市家庭教育サポーター連絡会 今別町家庭教育支援チーム

しるくはあと（おいらせ町） 八戸市城北家庭教育支援チーム

県総合社会教育センター 県教育庁生涯学習課

(6) 祖父母向け子育て研修会の開催

県地域婦人団体連合会への委託により、家庭教育をサポートする祖父母を対象として、祖父母が読み聞かせるのに適したおすすめの絵本の紹介や絵本の選び方、絵本を通じた孫との交流や絵本の読み聞かせ方等を学ぶ研修会を実施した。

地区	期日	場所	参加者数	内容
東青	9/17(木)	平内町勤労青少年ホーム	86名	講演：「家族の絆を深める読み聞かせ」 講師：青森大学社会学部
下北	10/7(水)	風間浦村易国間社会体育館	36名	教授 秋田 敏博

(7) 青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会の開催

社会全体で家庭教育を支援するため、家庭教育支援に関わる方々が一堂に会し、家庭教育の今日的な課題等について学習するとともに、家庭教育支援関係者等と市町村職員のネットワークを広げた。

○期日：1/8（金）

○場所：県総合社会教育センター

○参加者数：35名

○内容

ア 講義：「地域ぐるみで子どもを育てるために～子どもの居場所づくりの実践から～」（オンラインによる実施）

講師：日本冒険遊び場づくり協会 地域運営委員

名古屋市緑児童館 館長 塚本 岳

イ 事例発表

発表者：今別町家庭教育支援チーム T A Z U N A

(8) 家庭を支える連携・協働セミナーの開催

家庭教育支援に携わる方が、予防的・早期対応型の家庭教育支援の体制構築の必要性、家庭教育の今日的な課題等について学習するとともに、互いのネットワークを広げる研修会を年2回開催し、地域における家庭教育支援の充実を図った。

回・期日	場所	参加者数	内容
第1回 7/31(金)	青森県武道館	55名	講義：「なぜいま『連携・協働』なのか？ ～地域ぐるみで家庭教育を支えるために～」 講師：青森中央短期大学幼児保育学科 准教授 松浦 淳
第2回 11/18(水)	弘前市立中央公民館 相馬館 長慶閣	22名	講義：「家庭教育支援チームが持つ可能性 ～地域ぐるみで家庭教育を支えるために～」 講師：青森中央短期大学幼児保育学科 准教授 松浦 淳 事例発表：「紹介します、県内家庭教育支援 チームの実践！」 発表者：青森市家庭教育サポーター連絡会 代表 沼田 久美 八戸市城北家庭教育支援チーム アドバイザー 中村 和貴子 サポーター 七條 いつ子

子どもの読書活動推進のための図書セット貸出事業 <図書> (p.217)

県立梵珠少年自然の家主催事業 <梵珠> (p.223)

県立種差少年自然の家主催事業（自然と遊ぼう、子どもの祭典） <種差> (p.228)

自然体験活動支援事業 <種差> (p.229)

在学少年宿泊指導者研修 <種差> (p.229)

親子で学ぶ防災キャンプ事業 <種差> (p.229)

青森で生きる未来人財育成事業 <社セ> (p.237)

大学生とカタル！キャリアサポート形成事業 <社セ> (p.237)

高校生スキルアッププログラム推進事業 <社セ> (p.239)

青少年社会参加活動・創作活動モデル団体研究事業 <社セ> (p.239)

教員のためのチーム「学校・家庭・地域」連携講座 <社セ> (p.240)

家庭教育応援隊養成講座 <社セ> (p.241)

家庭教育支援動画制作普及事業 <社セ> (p.242)

家庭教育相談事業 <社セ> (p.243)

2節 活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成
- イ 次代の地域を担う若者の育成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援
- エ 多様な働き方を可能にする学び直しの機会の充実

若者・女性の学び直しを通じたキャリア形成支援事業

【趣 旨】

人生100年時代を見据え、職業に必要なスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進が求められていることを踏まえ、県民の主体的なキャリア形成を総合的に支援するため、産学官民のネットワークを構築し、若者・女性向けのキャリアプランニング講座の開設及び学び直しの場への動機づけとなる啓発などを行うとともに、産学官民のネットワークを活用し、学びの入り口から出口まで切れ目のない総合的な支援体制のモデルを構築する事業である。

【概 要】

(1) 青森県学び直し推進会議

- 参加機関：県内大学・短期大学・専修学校・各種学校、県関係部局、市町村、商工団体・産業支援機関、就業支援機関、民間団体

- 会議概要：第1回 7/16 (木) 県総合社会教育センター

- ・学び直しを通じたキャリア形成支援に関連する事業・取組について

- ・学び直しを通じたキャリア形成支援ポータルサイト「Re-Learn Aomori (リ・ラーンあおもり)」の運用状況について

- ・国の動向について

- 第2回 10/15 (木) 県総合社会教育センター

- ・学び直しを通じた主体的なキャリア形成の促進に向けて

- (学び直しに係る啓発について、主体的なキャリア形成につながる学習機会について)

- 第3回 開催中止 (学び直しに関する今後の取組について、書面で通知)

(2) 考え、学び、輝く未来へつなげるキャリアプランニング講座

ア キャリアプランニング講座

- 対象 自分の適性や能力を発揮したいと考えている若者世代の方、子育て世代の女性

- 場所、期日、内容等

	男性対象		女性対象		内 容
	【青森会場】 男女共同参画 プラザカダール	【青森会場】 男女共同参画 プラザカダール	【三沢会場】 三沢キッズセン ターそらいえ	【むつ会場】 下北文化会館	
第1回	7/21 (火)	7/21 (火)	7/27 (月)	7/17 (金)	男性：企業が求めているキャリアを考える 女性：女性のワークキャリアの課題を知ろう
第2回	9/ 7 (月)	9/ 7 (月)	8/24 (月)	9/ 8 (火)	男性：自分自身のキャリアを考える 女性：自分を知って自信をつけよう
第3回	9/29 (火)	9/29 (火)	9/28 (月)	10/ 1 (木)	男性：社会や環境の変化による、ライフイベントの理解 女性：キャリアアップへのセルフ・プランニング
第4回	10/13 (火)	10/27 (火)	10/26 (月)	10/30 (金)	男性：企業視点でのキャリアプランニング 女性：自己PRのポイントを知ろう
第5回	11/10 (火)	11/30 (月)	12/7 (月)	11/19 (木)	男性：企業ニーズと自分の特性のすりあわせ 女性：自分らしくReStart!
受講者数	13名	3名	8名	5名	

イ フォローアップ研修会

- 期日：2/20（土） ○場所：県総合社会教育センター ○参加者数：7名
- 内容：①講義「自分らしく 社会で輝くために ～これからのキャリアを学ぶ～」
講師 株式会社I・M・S 取締役 一戸 竜基
- ②学び直しによって活躍している実践者による発表
発表者 東テク株式会社 青森営業所 計装事業部 施工管理者 石山 和也
株式会社LinkS 代表取締役 結婚カウンセラー 角田 康浩
社会福祉士・精神保健福祉士・キャリアコンサルタント 園木 圭織
- ③講師・発表者を交えた意見交換

(3) 学びの場への誘導

ア 学び直しに関する啓発及びフォローアップにつながる冊子の作成・配付

- 内容：①学び直しを通じてキャリア形成につなげた成功事例（実践者へのインタビュー）
- ②社会人のための学びの場の情報
- ③公共職業訓練（ハロートレーニング）「離職者等向け委託訓練」について
- ④自治体が実施する資格取得に関する経済的支援の取組について
- ⑤就業や起業、フォローアップに関する支援情報

イ 学び直しを通じたキャリア形成支援ポータルサイト「Re-Learn Aomori（リ・ラーン あおもり）」の運営

- 内容：①「学習機会を調べる」ページ
- ②「支援情報を見る」ページ
 - ・学び直しに係る経済的支援について
 - ・キャリアプランニングについて
 - ・就業支援について
 - ・就業後のフォローアップについて
- ③「eラーニングコンテンツを視聴する」ページ

若者の社会参加促進事業

[趣 旨]

若者の社会参加を促進することを目的に、地域の青年組織、または新たに活動を始めようとする若者団体（以下、「若者団体等」）が企画立案する地域の課題等を踏まえたモデル事業を実施する事業である。また、ひきこもりやニート等の課題を抱える若者の社会参加を促進することを目的として、就労体験や自然体験活動等を実施する事業である。

[概 要]

(1) 若者の社会参加促進事業プランの実践

若者団体等の地域活動への参加や若者同士の関わり、地域のつながりを形成するモデル事業プランを実施した。

ア 東青地区（青森市）

<企画事業の実践①>

- 期日：7/22（水） ○会場：CAFÉ&BAR WAYAWAYA（青森市）
- 参加者数：10名
- 内容：SNS ネイティブ世代のためのスキルアップ講習会
SNS等の活用を幅広く促すプレゼンテーションを円滑にするために、コミュニケーション力を高めたり、コーチングを学んだりする講習会を開催した。

<企画事業の実践②>

○期間：7～12月 ○会場：CAFÉ&BAR WAYAWAYA（青森市）

○参加者数：5名

○内容：ネット活用に関わるワークショップ

SNS活用の技術を高めるほか、インターネット等を活用する上で必要なネットリテラシーやZoom、YouTube等の動画活用の勉強会を開催した。講習会や勉強会で学んだことを生かし、様々な動画を作成することで、動画活用のスキルアップにつながった。

<企画事業の実践③>

○期間：11～12月 ○会場：CAFÉ&BAR WAYAWAYA（青森市）

○参加者数：5名

○内容：プレゼンテーションを円滑に進めるためのリーフレット作成

実行委員のほか、ワークショップ等への参加者が、伝達講習等を自前のできるインストラクターとなるためのリーフレット（「基礎IT講座」・「SNS活用講座」）を作成した。また、Webサイトを制作し、本事業の取組を紹介するとともに、ITの知識やリテラシーの知識を共有できるようにした。

イ 中南地区（黒石市）

<企画事業の実践①>

○期間：8～11月 ○会場：青森駅前公園 ○参加者数：延べ20名

○内容：バイオマス素材で持ち歩きやすく加工したゴミ袋の配布

街で「ふと目に入ったゴミをすぐ拾えること」や「ポイ捨て防止」、「環境にやさしいこと」を若者がアピールし、青森を「気づいたらきれいにしていること」を多くの県民に実感してもらうため、約2,000のゴミ袋を配布し、本事業における取組を紹介した。

<企画事業の実践②>

○期間：10～12月 ○会場：青森駅・五所川原駅周辺 ○参加者数：延べ15名

○内容：おさんぽビンゴなゴミ拾い

ビンゴゲームをアレンジし、通常数字が記載される枠に「空き缶」や「タバコの吸い殻」等のイラストを付し、ゲーム要素を盛り込んでゴミ拾いを行った。

ゲーム要素を盛り込むことで、子どもをはじめとする参加者が楽しみながらゴミ拾いを行った。

<企画事業の実践③>

○期日：10/31（土）、12/5（土） ○会場：八戸ニューポート・立佞武多の館

○参加者数：15名

○内容：+ a 「デレッキ」ワークショップ

ゴミ拾い用「デレッキ」を自由にデコレーションし、子どもから大人まで自由な発想で「世界に一つだけのデレッキ」を制作した。普段よりも前向きにゴミ拾いをしたくなる気持ちが醸成され、地域住民のゴミ拾いに対する意欲が高まった。

ウ 三八地区（三戸町）

<企画事業の実践>

○期日：10/23（金） ○会場：三戸町城山公園内糠部神社拝殿 ○参加者数：53名

○内容：城山公園 ナイトアコースティックライブ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、三戸町民が楽しみにし

ていた「さんのへ春まつり」と「さんのへ秋まつり」が中止となったことから、新たな地域イベントとして、アマチュアバンドによるアコースティックライブを城山公園内旧県社糠部神社拝殿にて開催し、翌年以降の継続開催に道筋をつけ、町民が楽しめる機会を創出した。

(2) 困難を抱える子ども・若者支援

不登校が続いている高校生やひきこもり・ニート等の課題を抱える状況にあり、社会とのつながりへのきっかけを求めている16歳～概ね40歳の若者を対象に、自立支援に向け、6～7月に体験活動を通じた交流を、8～9月に自然体験活動を、10月に就労体験を、種差少年自然の家及び梵珠少年自然の家等にてそれぞれ1回ずつ実施した。

<種差会場>

第1回自然体験・交流塾

○期日： 7/11 (土) ○会場：県立種差少年自然の家 ○参加者数：25名

○内容：せんべい焼き体験、創作活動 他

第2回自然体験・交流塾

○期日： 8/29 (土) ○会場：県立種差少年自然の家 ○参加者数：19名

○内容：野外炊事、創作活動 他

第3回自然体験・交流塾

○期日：10/17 (土) ○会場：県立種差少年自然の家 ○参加者数：19名

○内容：就労体験（自然の家の活動プログラムで使用する植物採集等）、創作活動他

<梵珠会場>

第1回自然体験・交流塾

○期日：6/27 (土) ○会場：県立梵珠少年自然の家 ○参加者数：9名

○内容：野外炊事、創作活動 他

第2回自然体験・交流塾

○期日：9/12 (土) ○会場：県立梵珠少年自然の家 ○参加者数：8名

○内容：簡易トレッキング、グループで取り組むゲーム活動、創作活動 他

第3回自然体験・交流塾

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業（再掲）

(P150 1節 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成に掲載)

パワフルA OMORI! 創造塾 <社セ> (p.235)

持続可能な地域づくりのためのネットワーク会議 <社セ> (p.236)

地域の今と未来をつなぐ教育支援活動コーディネーター等研修 <社セ> (p.243)

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 <社セ> (p.244)

3節 生涯を通じた学びと社会参加の推進

- ア 高齢者や障害者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実
イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

特別支援学校を活用した生涯学習講座開設事業

【趣 旨】

県民の生涯学習推進と開かれた学校づくりの促進を目的として、県立学校（特別支援学校）の有する専門性の高い教育機能を開放する事業である。

【概 要】

学 校 名	期 間	日数 (回数)	内 容	受講者数 (延数)
県立盲学校	7月	1日 (2回)	視覚障害者への支援と点字入門	21名 (35名)
青森第二高等養護学校	10月～1月	2日 (2回)	専門教科の製品開発を事例に、県産品を発信するためのデザインを学ぶ。	32名 (64名)

障害者の生涯学習支援事業

【趣 旨】

自立と社会参加を支援し社会性の向上を目指すことを目的として、集団生活や趣味の講座、障害者スポーツを通して他の卒業生や在校生、地域住民等と交流する機会を提供する事業である。

【概 要】

(1) 社会参加学習

開 設 校	回数	時間	参加者数	主な内容
青森第二養護学校	1			会報の発行（同窓会員の近況及び行事の様子）
青森若葉養護学校	2	7	20名	体験活動（野外活動、スポーツ）
浪岡養護学校	1	2	9名	同窓会・成人を祝う会
八戸盲学校	2	4	27名	スポーツ体験、芸術教室（合唱）
七戸養護学校	1	1.5	13名	同窓会資料の配付
むつ養護学校	4			卒業生交流会（書面による情報発信）、会報の発行
合 計		延べ回数	11回	延べ時間 14.5時間 参加者数合計 69名

(2) スポーツ体験交流

実施日	開催場所	参加者数	内 容
11/28（土）	青森若葉養護学校	20名	ニュースポーツ教室（パルバレーほか）
合 計		開催回数	1回 参加者数合計 20名

近代文学館 特別展開催事業 <図書> (p.217)

近代文学館 企画展開催事業 <図書> (p.218)

アウトリーチサービス推進事業 <図書> (p.220)

元気青森人を創造するeラーニング推進事業 <社セ> (p.235)

学習情報の収集・提供・整備事業 <社セ> (p.245)

青森県視聴覚ライブラリー運営事業 <社セ> (p.246)

あおもり県民カレッジ運営業務 <社セ> (p.246)

インフォメーションプラザありすの運営 <社セ> (p.248)

ボランティア活動支援機関連絡会議 <社セ> (p.248)

4 節 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

生涯学習推進基盤整備事業（生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会）

【趣 旨】

生涯学習振興法（生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律）の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制を整備していくため、生涯学習推進本部等を運営する。また、生涯学習推進に資する施策の総合的な推進に関する重要事項について調査、審議するため、生涯学習審議会を運営する。

【概 要】

(1) 生涯学習推進本部

生涯学習に関する関係部局相互の連携、協力を図り、生涯学習関連施策を一体的、効果的に進めるため、県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業について調査を行い、結果を取りまとめる。

(2) 青森県生涯学習審議会

県教育長から諮問された審議テーマについて調査し、県生涯学習課が今後取り組むべき事業について審議する。

<第14期青森県生涯学習審議会>

○委員：15名

○任期：2年（H30/10/19～R2/10/18）

○諮問：「人口減少下における地域コミュニティ再生のための生涯学習の推進の在り方について」

○審議テーマ：「持続可能な地域づくりを担う若者を支援するための仕組みづくりについて」
「青少年の体験活動等の推進の在り方について」

○会議等の概要：第5回審議会 6/29（月） 答申案（素案）について
第6回審議会 9/25（金） 最終答申案について
答申書提出 10/2（金） 会長から県教育長へ提出

<第15期青森県生涯学習審議会>

○委員：15名

○任期：2年（R2/10/19～R4/10/18）

○諮問：「青森県における新しい時代の生涯学習・社会教育の推進の在り方について」

○審議テーマ：「多様な人々のつながりと新しい技術の活用による生涯学習・社会教育の推進について」

○会議等の概要：第1回審議会 11/27（金） 諮問内容について
第2回審議会 2/2（火） 審議テーマに係る課題等について

生涯学習・社会教育総合調査研究事業

【趣 旨】

本県における生涯学習・社会教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、生涯学習・社会教育支援体制に関する調査を行う。

〔概要〕

県内の小学校5年生及び中学校2年生の保護者を対象にアンケート方式による調査を行い、その結果を分析し、報告書にまとめる。

- 調査テーマ：「家庭教育支援の充実のための実態等把握調査」
- 調査対象：4,000人（小学校5年生の保護者2,000人、中学校2年生の保護者2,000人）
- 顧問の委嘱：調査研究に係る指導助言のため、大学教授等に研究顧問を委嘱
- 報告書：110部を印刷し関係機関に配付するほか、ホームページでも公開

青森県社会教育委員の運営

〔趣旨〕

社会教育法第17条に基づき、本県社会教育の振興方策について審議及び調査研究を行い、県教育委員会に答申、建議を行う。

〔概要〕

(1) 第34期青森県社会教育委員

- 委員：8名 ※青森県生涯学習審議会委員との兼務
- 任期：2年（H30/10/19～R2/10/18）
- 調査研究テーマ：「人づくり・つながりづくり・地域づくりの拠点としての社会教育施設の在り方について」
- 会議等の概要：第5回会議 5/20（水） 答申案の方向性について
第6回会議 7/29（水） 答申案（素案）について
※最終答申案については、第6回青森県生涯学習審議会で審議

(2) 第35期青森県社会教育委員

- 委員：8名 ※青森県生涯学習審議会委員との兼務
- 任期：2年（R2/10/19～R4/10/18）
- 調査研究テーマ：「地域全体で子どもを育む家庭教育支援の在り方について」
- 会議等の概要：第1回会議 11/27（金） 調査研究テーマについて
第2回会議 2/16（火） 調査研究テーマに係る課題等について

市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県社会教育行政」の作成

〔趣旨〕

本県社会教育施策の企画・立案の資料作成を目的として、各市町村における社会教育事業実施状況及び社会教育施設・社会教育関係職員・生涯学習推進体制の状況等について調査する事業である。

〔概要〕

- (1) 市町村の社会教育行政調査
- (2) 市町村の生涯学習推進体制等の状況に関する調査
- (3) 「令和2年度青森県社会教育行政」の作成配付（600部作成）

社会教育主事有資格者育成派遣事業

〔趣旨〕

社会教育指導体制の充実を図り、社会教育主事有資格者を育成することを目的として、教育事務所等の指導主事、小・中学校の教員を社会教育主事講習に派遣する事業である。

〔概要〕

社会教育主事講習〔B〕（国立教育政策研究所社会教育実践研究センター主催）岩手会場への派遣

※令和2年度弘前大学社会教育主事講習が中止となったため
 研修期間：1/21（木）～2/5（金）インターネットによる受講
 2/8（月）～2/18（木）岩手県立生涯学習推進センターで実施
 派遣者数：教育事務所主任指導主事3名及び指導主事2名

生涯学習専門講座派遣事業

【趣 旨】

生涯学習の振興において中核的な役割を果たす専門的職員を育成することを目的として、関係職員を中央研修に派遣する事業である。

【概 要】

- (1) 社会教育主事専門講座(オンライン開催)
受講者なし
 - (2) 地域教育力を高めるボランティアセミナー
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止
- ※(1)、(2)ともに国立教育政策研究所社会教育実践研究センター主催

社会教育主事等一般研修

【趣 旨】

県社会教育関係職員が一堂に会し、県の社会教育行政の方針と重点について研修と情報交換を行い、職務遂行能力のスキルアップを図る。

【概 要】

研修会の開催 年2回

在学青少年育成費補助事業

【趣 旨】

青少年教育の機会拡充をより一層図ることを目的として、県内の在学青少年（高校生）を対象とした講演会事業に対して助成を行う事業である。

【概 要】

主に東京及びその近郊に在住する青森県出身者並びに青森県にゆかりのある方々を講師として県内高校に派遣する講演会事業に対する助成。

開催日	場 所	参 加 生徒数	内 容
10/8(木)	県立弘前実業高等学校	837名	演題 「『ものづくり』の心得、三つのタネを育てる」 講師 (株)ティー・シー・エイ 代表取締役 千葉 貴司
	県立柏木農業高等学校	381名	
10/28(水)	県立六ヶ所高等学校	173名	演題 「大切なこと」 講師 作家 青木 裕次
10/29(木)	県立野辺地高等学校	238名	

※当初は6校での実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2校での講演が中止となった。

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業（再掲）

(P150 1節 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成に掲載)

県立図書館資料整備 <図書> (p.219)

市町村立図書館等職員研修事業 <図書> (p.219)

生涯学習・社会教育関係職員研修講座（再掲） <社セ> (p.244)

ボランティア関係者情報交換会 <社セ> (p.245)

3章 施設と職員の状況

1節 社会教育施設の状況

1 公民館

(1) 公民館の設置状況

令和2年4月1日現在

区 分	本 館			分 館
	中央館	地区館	計	
市 計 (10)	13	81	94	51
町 村 計 (30)	26	42	68	62
合 計	39	123	162	113

2 図書館

(1) 公立図書館の設置・蔵書の状況

令和2年4月1日現在

No.	施 設 名	蔵書冊数 (冊)	No.	施 設 名	蔵書冊数 (冊)
1	青森県立図書館	970,960	18	平川市平賀図書館	97,414
2	青森市民図書館	1,045,419	19	平川市尾上図書館	46,277
3	弘前市立弘前図書館	527,938	20	平内町立図書館	67,583
4	弘前市立岩木図書館	本館に含む	21	藤崎町図書館大夢	66,227
5	八戸市立図書館	451,201	22	板柳町民図書館	30,539
6	八戸市図書情報センター	5,942	23	中泊町図書館	64,255
7	八戸市立南郷図書館	61,675	24	野辺地町立図書館	94,028
8	五所川原市立図書館	105,456	25	七戸中央図書館	35,214
9	伊藤忠吉記念図書館	32,780	26	六戸町立図書館	33,803
10	五所川原市立図書館市浦分館	4,007	27	横浜町民図書館	28,600
11	十和田市民図書館	191,356	28	東北町立図書館	67,695
12	三沢市立図書館	140,905	29	六ヶ所村民図書館	48,024
13	むつ市立図書館	165,024	30	おいらせ町立図書館	68,177
14	むつ市立図書館川内分館	8,029	31	三戸町立図書館	48,222
15	むつ市立図書館大畑分館	8,364	32	五戸町図書館	114,305
16	むつ市立図書館脇野沢分館	5,340	33	田子町立図書館	37,247
17	つがる市立図書館	98,398			

3 青少年教育施設

令和2年4月1日現在

No.	施設名	所在地			
		〒	住所	TEL	FAX
1	青森県立 梵珠少年自然の家	037-0611	五所川原市神山字殊ノ峰 117-602	0173-29-3303	0173-29-3306
2	青森県立 種差少年自然の家	031-0841	八戸市鮫町字膳並平2-26	0178-38-2131	0178-38-2727
3	むつ市 下北自然の家	039-4401	むつ市大畑町佐助川399	0175-34-6151	0175-34-6152
4	公立小川原湖 青年の家	039-2402	上北郡東北町大浦字道ノ下 104-6	0176-56-2393	0176-56-5042
5	公益財団法人青森県スポーツ協会 岩本青少年スポーツセンター	036-1345	弘前市常盤野字湯段菴1-2	0172-83-2338	0172-83-2732
6	青森市 浪岡細野山の家	038-1322	青森市浪岡大字細野字沢井 37-3	0172-62-3129	同左
7	平内町 勤労青少年ホーム	039-3321	東津軽郡平内町大字小湊字 小湊79-3	017-755-3945	-
8	深浦町 ふれあい創造の館	038-2202	西津軽郡深浦町大字岩崎字 松原51-7	0173-77-2111	-
9	黒石市 スポーツ交流センター	036-0306	黒石市大字内町24-1	0172-53-1612	-
10	野辺地町 勤労青少年ホーム	039-3112	上北郡野辺地町字中道 20-1	0175-64-9657	-
11	横浜町 烏帽子平自然の家	039-4154	上北郡横浜町字明神平138	0175-78-2084	-
12	大間町 勤労青少年ホーム	039-4601	下北郡大間町大字大間字 大間平41-7	0175-37-4346	-
13	三戸町 勤労青少年ホーム	039-0141	三戸郡三戸町大字川守田字 関根4-1	0179-22-0173	0179-20-1085

2節 社会教育関係職員の状況

1 社会教育関係職員

(1) 社会教育委員の委嘱状況

令和2年4月1日現在

区 分	定員数 (人)	現 員 数 (人)			委員委嘱数 (人)			
		計	男	女	学校教育 関係者	社会教育 関係者	家庭教育 の向上 に資する 活動 を行う者	学 識 経験者 ある者
県	12	8	3	5	1	4	1	2
市 計 (10)	114	108	68	40	19	47	19	23
町村計 (30)	276	234	144	90	42	98	23	71
合計	402	350	215	135	62	149	43	96

(2) 教育委員会事務局の社会教育関係職員数 (人)

令和2年4月1日現在

区 分	課 長		社会教育主事		派遣社会 教育主 事	社会教育主事補		社 会 教 育 指 導 員	計
	専任	兼任	専任	兼任		専任	兼任		
県	1	0	19	6	-	0	0	0	26
市 計 (10)	9	3	0	10	0	0	1	1	24
町村計 (30)	6	24	4	18	0	0	1	5	58
合計	16	27	23	34	0	0	2	6	108

2 公 民 館

(1) 公民館職員数 (人)

令和2年4月1日現在

区 分			市(10)計	町村(30)計	合 計	
本 館	中央館	館 数	13	26	39	
		館 長	専 任	6	3	9
			兼 任	6	23	29
			非常勤	1	0	1
		主 事	専 任	19	0	19
			兼 任	3	16	19
			非常勤	12	1	13
		その他	専 任	28	15	43
			兼 任	19	69	88
	非常勤		43	6	49	
	地区館	館 数	81	42	123	
		館 長	専 任	1	1	2
			兼 任	2	30	32
			非常勤	78	11	89
		主 事	専 任	0	0	0
兼 任			0	0	0	
非常勤			128	0	128	
その他		専 任	21	6	27	
		兼 任	28	30	58	
	非常勤	31	6	37		
分 館	館 数	51	62	113		
	館 長	専 任	0	15	15	
		兼 任	4	4	8	
		非常勤	47	43	90	
	主 事	専 任	0	0	0	
		兼 任	12	0	12	
		非常勤	0	30	30	
	その他	専 任	0	0	0	
		兼 任	0	0	0	
		非常勤	31	4	35	

(2) 公立図書館等職員数の状況

令和2年4月1日現在

No.	施設名	職員数						
		専任	うち 司書	兼任	うち 司書	非常勤 職員	臨時 職員	委託派遣 職員
1	青森県立図書館	20	11			15		
2	青森市民図書館	25	6			2	3	48
3	弘前市立弘前図書館	6		6		6		23
4	弘前市立岩木図書館							3
5	八戸市立図書館	13	7			12	6	
6	八戸市図書情報センター							7.1
7	八戸市立南郷図書館							8.1
8	五所川原市立図書館	7	3				1	
9	伊藤忠吉記念図書館						1	
10	五所川原市立図書館市浦分館			2				
11	十和田市民図書館	7	4	1		2.7		1.4
12	三沢市立図書館							11.5
13	むつ市立図書館	7	2				14	
14	むつ市立図書館川内分館			3			1	
15	むつ市立図書館大畑分館			3			2	
16	むつ市立図書館脇野沢分館			3			1	
17	つがる市立図書館			1				9
18	平川市平賀図書館	3	1	1			3	
19	平川市尾上図書館	2					1	
20	平内町立図書館			1		1	1	
21	藤崎町図書館大夢							6.4
22	板柳町民図書館			2			1	
23	中泊町図書館	4	1					
24	野辺地町立図書館	1	1	2			3.8	
25	七戸中央図書館	1	1	1	1	1	1	
26	六戸町立図書館			3				3
27	横浜町民図書館			5			1.8	
28	東北町立図書館	1	1	1		5		1
29	六ヶ所村民図書館							9.7
30	おいらせ町立図書館							6
31	三戸町立図書館			1				3
32	五戸町図書館	2					4.8	
33	田子町立図書館	1	1	5		1		